



包摂的で質の高い 教育を受ける権利

プラン・インターナショナル ポジションペーパー

2017年10月

包摂的で質の高い教育を受ける権利

プラン・インターナショナル ポジションペーパー

プラン・インターナショナルは、すべての子どもと若者が包摂的で質の高い教育へアクセスし、受ける権利があると考えている。これらの教育には、就学前教育、初等教育、中等教育、公式・非公式なものが含まれる。そして、適切な年齢で、安全に勉強のサポートが受けられる環境が求められている。

【概要：教育へのアクセス】

- プラン・インターナショナルは、すべての子どもたちが平等に機会を得て差別されることなく、教育を受けるべきだと考える。国際社会が制約した通り、すべての子どもたちは包摂的で質の高い、就学前教育、初等教育、中等教育を受けなければならない。ジェンダー、国籍、人種、出自、宗教あるいは政治的信条、年齢、障がいなどによって、子どもたちが質の高い教育を受ける機会を逸してはならない。これらの障壁は差別的であり、効果的な政策と十分な資金による対応が必要である。プラン・インターナショナルは、女の子の教育を国際社会で優先課題とし、教育へのアクセスの不平等を解消する。
- もし、SDGs がもっとも取り残された人を対象としていなければ、それは国際社会の敗北を意味する。学びの環境はすべての女の子と男の子に、彼ら彼女らの身体的、知的、社会的、

感情的、そして言語的な能力にかかわらず、適切なものでなければならない。すべての関係者が、もっとも脆弱で疎外されやすい子どもたちが教育を受けることができるよう、優先して支援する必要がある。こうした子どもたちは、貧困状態にあったり、紛争や緊急時にもっとも脆弱で排除されやすい環境にいる女の子や障がいのある子どもたちである。

【社会規範と女の子への教育】

- プラン・インターナショナルは、教育が女の子の潜在能力を引き出す鍵であり、SDGs を達成するもっとも有効な手段であると考えている。すべての女の子は安全な環境で、質の高い教育を受ける権利を持っている。安全な教育環境とは、ジェンダーに基づく偏見や差別的な社会規範を強いられることなく、ジェンダー平等がすすんでいる状況である。プラン・インターナショナルは、不十分な衛生設備、月経衛生管理対策、早すぎる妊娠と

育児、早すぎる結婚など、女の子が教育を受けるのを阻む障壁に優先的に取り組む。

- 女の子は家庭、コミュニティ、社会から軽んじられ、抑圧されがちな存在である。女の子が教育を受け、修了することを阻むようなジェンダー不平等や、社会規範の改善に取り組むことが重要である。女の子や女性への否定的なジェンダー規範は、伝統的、文化的、宗教的なものとして正当化されるべきではない。

【障がいのある子どもたちの教育へのアクセス】

- プラン・インターナショナルは、公的な教育制度は学習者のニーズに合わせて、すべての子どもに学ぶ機会を与えるべきだと考える。子どもたちの可能性を無視してはいけない。障がいのある子どもたちも、等しく包摂的で質の高い教育を受け、学びを円滑にすすめるために必要なサポートを受ける権利がある。
- 乳幼児期からの子どもにやさしく包摂的な教育は、特殊分離教育よりコストが低く、すべての学習者が社会的、学術的、健康的、経済的な目標をより達成しやすい。プラン・インターナショナルは包摂的な教育は国際的な優先課題であり、SDGs の達成に不可欠だと考える。

【子どもの貧困と教育へのアクセス】

- プラン・インターナショナルは、子どもが包摂的で質の高い教育を受ける権利を侵害されてはならないと考える。また、貧困が女の子や障がいのある子どもに悪影響を及ぼすことを認識している。政府、国際機関、そして市民社会といったすべての関係者が、包摂的で質の高い教育を受けられるよう支援する責任を負っている。
- プラン・インターナショナルは就学前教育、初等教育、中等教育は無償化されるべきであると考え。貧困層の子どもたち、特に女の子を対象に教育へのアクセスを支援すべきである。

【緊急時の教育へのアクセス】

- プラン・インターナショナルは紛争や災害によって、子どもたちの教育を受ける権利が侵害されてはならないと考える。この基本的な権利は、教育を継続するために移住を余儀なくされた子ども、難民、亡命希望者、国内避難民も含めて、緊急時とその後も守られるべきである。
- 緊急時における教育は、子どもたちの日常を取り戻すために重要である。子どもたちにとって安心できる場所を提供するため、そして子どもたちが自分自身の現状や将来を切り抜けていくのに必要な能力を備えるため

に重要である。

- プラン・インターナショナルは、教育は人間の核となるニーズであると考ええる。緊急時における教育支援は、突然の非常事態に対する備えや、非常事態の発生期など、すべての段階における計画と対応に組み込まれるべきである。
- 支援活動は、子どもたちのニーズに見合っていないなければならない。その一方で、国の教育サービスの回復と強化のための長期的な計画を立てなければならない。
- プラン・インターナショナルは、緊急時における教育は、不均衡に影響を受け、重大な危機に直面している女の子や障がいのある子どもたちを対象とすべきであると認識している。

【非公式教育へのアクセス】

- プラン・インターナショナルは、非公式教育は重要な包摂的教育であると認識している。非公式教育プログラムは、学校の外にいる子どもたちが教育を受け、そして、場合によっては公的な教育制度に戻る準備として有効である。

【概要: 質の高さ、公平、そして平等】

- プラン・インターナショナルは、質の

高い教育は包摂的で、人々をエンパワーし、人の尊厳と価値への敬意を育成し、ライフスキルと包括的性教育を含む幅広い学びを提供するものだと考える。また、子どもと若者に必要な技能、知識を教えることにより、生産的で積極的な人生を送り、そして責任があり活動的な市民になれるように促すものでなければならない。

- プラン・インターナショナルは質の高い教育の成果を、教育へのアクセスの二の次にしてはいけないと考える。もし子どもたちが、学校にいない間に学ばず成長できなかつたら、その教育制度は無価値である。
- 教育は子どもたちが自身の可能性を自覚し、多くの不平等や社会に長年存在する排他的な慣習と闘うのに役立つ。そして、プラン・インターナショナルは質の高いカリキュラム、教授法、そして学びの環境を通して、教育制度を保障する共同の責任を負っている。

【質の高い乳幼児ケアと就学前教育の提供】

- プラン・インターナショナルは、就学前教育は質の高い教育の重要な要素であり、子どもの脳の発達を促し、子どもたちの学ぶ能力を鍛え、精神の回復力を育てると考えている。そして、変化に対応する力を高め、初等教育が始まる前の準備にあたることを

る。就学前教育は、貧しい地域、また、文字を使用しない環境に生まれた子どもたちが直面する不利な状況を軽減することができる。

- 乳幼児ケアと就学前教育は、ジェンダー平等の社会化に重要な価値がある。乳幼児期と入学後の数年間に、差別的な社会規範が刷り込まれる。就学前教育はジェンダーに配慮し、有害なジェンダーの固定概念を排除しなければならない。
- プラン・インターナショナルは、すべての子どもが最低 1 年間は無料で就学前教育を受けられるよう、政府は質の高い就学前教育を優先事項にするべきであると考えている。
- 乳幼児ケアの提供は、無償ケア労働における性別に基づいた役割分担と負担を減らす重要な支援である。特に若い母親が教育の再開や経済的な機会を得るのに不可欠な支援だと考える。

【質の高い教育】

- プラン・インターナショナルは、教育は平和と尊厳、平等と持続性のある文化を育て、そして学習者自身が生活に関連する問題に取り組み対処できるようにするものと考えている。学校の教育は性別、ジェンダーや社会的地位、言語、年齢、宗教、性的指向、民族や文化に基づく差別や偏見の是

正に積極的に取り組むべきである。

- プラン・インターナショナルは、すべての子どもと思春期の若者たちは差別されることなく、包括的性教育を受ける権利があると考えている。性に関する知識や価値、態度を身につけ、関係性と性的関心について健康的で敬意のある選択をするための能力を身につける必要がある。両親と教育者は、乳幼児期から子どもたちが生涯にわたり健康的に行動と対処ができるよう、また強制、暴力、差別されることなく包括的性教育を受けられるよう支援するべきである。
- 包括的性教育は、すべての子どもや思春期の若者たちにとって、公教育、非公式教育の両方でアクセスしやすいものでなければならない。カリキュラムに沿った教育は、公的なカリキュラムを補完するものとして、親やコミュニティとの関わりを深めることにつながる。また、性別に対応し、子どもや思春期の若者たちにとって利用しやすい医療やその他のサービスとの橋渡しとして重要である。これは一方的でなく、差別的でもない、科学的に正しく、わかりやすく、包括的で、人権に基づいた、ジェンダー・トランスフォーメティブで、子どもや思春期の若者たちの可能性を發展させるための方法として提供されなければならない。
- 公式、非公式であれ、質の高い教育の

提供において、緊急時の教育のために活動する各機関からなるネットワークが作成した最低基準を遵守しなければならない。教育はトレーニングを受けた専門家によって行われ、ジェンダーの平等と包摂を促進し、子どもたちの多様な文化的、民族的な背景を理解し、そして人権、紛争の解決、ライフスキル、包括的性教育、災害リスクの軽減が含まれていなければならない。

- 質の高い教育は、子どもたちの可能性を開花させ、また働きがいのある人間らしい仕事につくチャンスを最大限にすることができる。教育は将来の可能性と明確に繋がっているべきであり、すべての学習者が就業や起業するための能力を修得できるものでなくてはならない。
- デジタル革命が不平等と社会的排除を強化しないよう、情報技術を教育制度に組み込む必要がある。

【教師：人数、資格、能力とサポート】

- 質が高く、公平で包摂的な教育のために、教師は重要な要素である。教師には高い能力が求められ、それに見合う尊敬と支援を受けるべきである。教師たちが仕事ができ、毎日出勤ができるよう、政府は教師の仕事に対して相応の報酬を与えることに努めるべきである。

- プラン・インターナショナルは、すべての子ども、特に女の子が円滑に学べるよう、また有害なジェンダーの固定概念と闘えるよう、あらゆる教育レベルにおいて女性教師と管理者が不可欠であると考えている。女性教師は専門性を高める後押しを受け、キャリアをすすめる、指導的立場につけるよう励まされるべきである。
- 教授法はジェンダーや障がいの有無に関係なく、すべての子どもが学習目標を達成し、また幅広い教科を学べるようにすべきである。

【概要：学べる環境】

- プラン・インターナショナルは、学校が安全で包摂的な場であることが、教育の目標の達成と子どもたちの幸福のために重要なことであると考えます。暴力がなく、尊重し合い、包摂的な文化は質の高い教育の基本理念であり、それは世界の教育の優先事項である。
- 子どもたちの幸福を保障するために、教育制度が子どもの保護と保健に連携していることは重要であり、どの子どもたちも置き去りにしてはならない。

【ガバナンスと参加】

- プラン・インターナショナルは、教育を受けた子どもと若者たちは、質が

高く安全な教育を受けるのに立ちほだかる課題の一番の理解者になると考える。子どもたちが意思決定に参加できるようにしなくてはならない。女の子と男の子の関心、懸念、そして意見は、学校のガバナンス、運営から国家の政策立案のあらゆるレベルで取り入れられるべきである。

- すべての子どもと若者は、性別、年齢、障がい、その他の排他的な分類とは関係なく、意思決定のプロセスに意義ある参加ができるようにすべきである。女の子と権利を奪われ取り残された子どもたちが、ほかの子どもたちと同等に参加できるようにすべきであり、取り残された子どもたちの価値と尊厳は守られるべきである。

【学校内外でのジェンダーに基づく暴力】

- プラン・インターナショナルは、すべての子どもが暴力や恐怖から解放され、安全で安心できる環境で学ぶ権利を持つと断言する。これは質の高い教育の要件である。国家、地域、学校、コミュニティレベルで暴力を合法化したり、支持するような姿勢や行動に対して意義を申し立てることは、学校内外でのジェンダーに基づく暴力を防ぎ、対応するうえで重要である。
- 子どもを学校、または通学路での性暴力、嫌がらせ、いじめ、脅迫、そ

して体罰を含めた暴力の被害者にしてはいけない。プラン・インターナショナルは子どもたちがジェンダーに関係なく、自身の価値、他者の価値を認められるよう支援する。これは包摂的で質の高い教育の根本的な学びの成果であると考えている。

- プラン・インターナショナルは、学校内外でのジェンダーに基づく暴力をなくすことは、すべての関係者にとって優先事項であるべきであると考えている。学校内外でのジェンダーに基づく暴力は深刻な人権侵害であり、子どもたちの入学、進級、卒業する能力に影響を与える。

【教育の権利における財政：世界的な資金ギャップ】

- プラン・インターナショナルは誰一人として、金銭的理由で質の高い教育が受けられないことがあってはならないと考える。すべての子どもが最低1年間の就学前教育を含めた、12年間の無償で質の高い基礎教育を受けられるようにすべきである。
- 教育制度はジェンダー平等と包摂的な教育に重きを置き、十分かつ公平に財源を確保しなければならないと考える。公平な学びの成果と教育のための資金は、子どもたちを誰一人として置き去りにしないために、教育へのアクセスにもっとも障壁がある子どもに優先的に利用されるべき

である。

【教育のための国内資金】

- プラン・インターナショナルは、質が高く包摂的な教育をすべての子どもたちが受ける権利を保障する責任が国家にあると認識している。もっとも排除されがちな子どもたちを含めたすべての子どもたちが、教育を受ける権利を実現するために必要な政治的、財政的な策を実行することは、不可欠である。

【教育のための国際的資金】

- プラン・インターナショナルは、国際社会は低所得国、中所得国の公教育の財政を保証するために、政府を支援する義務があると考ええる。それにより、すべての子どもが包摂的で質の高い教育を受ける権利を実現することができる。もし、教育の目標が達成できなければ、SDGsの目標を完全に達成することは不可能である。
- プラン・インターナショナルは教育面での世界的な資金不足を解消するために、すべての関係者に働きかけ、二国間、また多国間で教育のための資金増加を要請する。

【緊急時における教育の資金】

- プラン・インターナショナルは、教

育を受ける権利は緊急時でも保障されるべきであり、教育のための資金は紛争や災害の予防、初動対応の重要な一部であると考ええる。各国政府には、すべての子どもたちが紛争や災害の緊急下および、その後も教育を受け続けられるようにする責任がある。

- プラン・インターナショナルは、すべての子どもへの義務を果たすために、国際社会が脆弱国へ追加の資金と技術的な支援を提供するべきであると考ええる。プラン・インターナショナルは、緊急時における教育のための国際的な支援を増やすために「教育を後回しにはできない」基金を支援している。

【教育のための民間セクターの資金】

- プラン・インターナショナルは、教育は政府の責任であり、政府によって公教育の財政資金が確保される必要があると考ええる。
- 民間の資金は、世界的な教育の優先課題を解決することに重要な役割を果たすと考える。その資金は公的な教育制度を補完し、支援するよう促されるべきである。
- 研究が示しているように、有償の教育が社会と経済の不平等を悪化させている。プラン・インターナショナルは営利、非営利であっても、有償

の民間教育を支持していない。すべての子どもに教育を提供するための法的な義務をなおざりにするものである。ときに、両親が子どもたちを私立の学校に通わせるか、教育を受けさせないかの二者択一に置かれる場合がある。プラン・インターナショナルは、有償教育は子どもに質の高い教育を提供するために必要な移行期間に介在するものと認識している。

【世界的な教育目標のためのモニタ

リング】

- プラン・インターナショナルは信頼できるデータの収集と分析が、すべての子どもたちの学びのニーズに応えるための有効な政策を実施するために不可欠であると考えている。現在の測定では、教育成果の理解に開きがある。国際社会はこの差を埋めるために取り組むべきである。
- プラン・インターナショナルは、組織内外の知識共有を通じて、組織内、政府、その他の教育関係機関において学びと反省の文化を醸成し、根拠に基づいた意思決定を強化する。このためにも、政府と国際機関は性別、年齢、経済状況、場所、そして障がいの有無ごとに細分化されたデータを収集する必要がある。